

公益財団法人東京都農林水産振興財団 入札情報

【公表】

整理番号	8
契約番号	6農振財契第223号
件名	バッテリーフォークリフトの購入
入札方法	電子入札システム「ビジネスチャンス・ナビ」上で実施
納入場所	東京都立川市富士見町3-8-1 公益財団法人東京都農林水産振興財団 立川庁舎
概要	電動フォークリフト 1台 (詳細は別紙仕様書のとおり)
納入期限	令和6年12月20日(金)
契約方式	希望制指名競争入札
希望申出要件	①又は②のいずれかの要件を満たす者で、本件仕様に対応可能な者 ①東京都における令和5・6年度物品買入れ等競争入札参加有資格者で、いずれかの営業種目に格付けされている者であること(営業種目は問わない)。 ②当財団又は官公庁等において同様の業務について契約実績を有する者であること。
格付	問わない
仕様説明会	実施しない
開札予定日時	令和6年6月18日(火) 午前10時00分(入札期間は指名通知時に連絡)
希望申出期間	令和6年5月29日(水)午前10時から令和6年6月5日(水)午後4時まで
希望申出方法	電子入札システム「ビジネスチャンス・ナビ」を通じて受け付けます。
希望申出時の提出書類	以下の(1)から(3)までの書類を「ビジネスチャンス・ナビ」上に添付してください。 (1) 希望票〔様式あり〕(必要事項を記入) (2) 会社概要・実績一覧表〔様式あり〕(必要事項を記入) (3) ○希望申出要件①に該当する場合 東京都の「令和5・6年度物品買入れ等競争入札参加資格審査受付票」の写し 及び「令和5・6年度競争入札参加資格審査結果通知書(物品等)」の写し ○希望申出要件②に該当する場合 契約実績を証明するものの写し(契約書・請書の写しなど)
備考	(1) 指名停止等業者については、東京都に準じて取り扱うものとします。 (2) 指名業者の選定については、当財団指名業者選定基準によるものとします。 (3) <u>希望票の提出があっても、必ずしも指名されとは限りません。</u> (4) 指名通知は、指名した方のみに対して開札予定日の5日前までに行う予定です。 (5) 申込書類に不備がある場合、失格になることがあります。 (6) 関係する会社に該当する場合(親会社と子会社の関係にある場合、親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合、役員の兼任等がある場合)には、同一入札に参加することができません。 (7) 入札結果(落札業者名、落札金額等)については後日公表します。予めご了承ください。
入札に関する問い合わせ先	公益財団法人東京都農林水産振興財団 管理課 契約担当 住所 東京都立川市富士見町3-8-1 電話 042-528-0721
仕様内容に関する問い合わせ先	公益財団法人東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 研究企画室 住所 東京都立川市富士見町3-8-1 電話 042-528-5216

仕 様 書

1. 件 名 電動フォークリフトの購入
2. 納入期限 令和6年12月20日
3. 納入場所 公益財団法人東京都農林水産振興財団
東京都農林総合研究センター
〒190-0013 東京都立川市富士見町三丁目8番1号

4. 仕様

- 1) 種類および台数： カウンタータイプ（バッテリー式） 1台
- 2) サイズ：
全長 2,100×全幅 1,100[トレッド幅(前・後輪)900]×地上高(ヘッドガード高)2,000mm 程度
- 3) 定格荷重： 1トン
- 4) マスト： フルフリーマスト（3段） 揚高 3,700mm
- 5) フォーク長： 1,100mm 程度
- 6) 車両重量： 2,600kg 程度
- 7) バッテリー： 鉛（車載充電器が備わっていること）
- 8) 公道走行可能なナンバー取得型式であること
- 9) ディレクションスイッチ（前後進レバー）がエンジン車と同様に左側に配置されていること
- 10) 下記に掲げる安全性に関する機能が備わっていること
 - ① 旋回時や荷物を高く上げたときなど、必要に応じてスイングロックシリンダでリヤアクスルをロックすることで後輪の上下スイングを固定して車両の左右安定性を確保する機能
 - ② 高揚高時はゆっくり、低揚高時には素早くなるようにマスト前・後傾速度を自動的にコントロールすることで、荷崩れ防止に役立つ機能
 - ③ 荷重計の機能を備え、揚高や積荷の重さに応じてマストが前傾しすぎないように自動停止するマスト前傾角度制御機構
 - ④ フォークの水平出しを簡単に行う機能
 - ⑤ 積荷の重さと持ち上げた高さ・旋回半径を検知し、旋回速度を自動制御する機能
 - ⑥ 積荷の重さと持ち上げた高さを検知し、最高速、加速度、減速度を自動制御する機能
 - ⑦ オペレーターが運転席を離れた時の事故防止に役立つ機能
- 11) バッテリー延命・稼働時間延長機能が備わっていること
 - ① バッテリーのメンテナンスに必須な補水作業を充電時に自動で行う機能
 - ② アクセルオフ、スイッチバック、ブレーキ操作時それぞれの制動エネルギーを効率よくバッテリーに回収（充電）する機能
 - ③ バッテリーの液切れやオーバーヒートを検知し、必要に応じて警告通知や車両性能を制限することで、バッテリーへの負荷を低減する機能
 - ④ キースイッチをオンにしたまま車両を離れても、一定時間で自動的にキーオフ状態へ切り替え、ムダな電力消費を抑える機能

- ⑤ バッテリーの状態に応じて充電電流を制御し、バッテリーへのダメージを軽減する機能
- ⑥ モーターとモータードライバを利用して、バッテリー状態に応じて充電量を最適に制御する機能
- ⑦ バッテリーの稼動状況や充電情報などを記録し、バッテリーメンテナンスや充電作業の改善に役立つデータを提供する機能

5. 付属品 電源コード 5 m (財団が指定するフラグを付属する)

6. 納 期 納入前にあらかじめ財団に連絡すること。

設置は土曜日、日曜日、祝日を除く 9 時から 17 時に行う。

7. 環境により良い自動車の使用について

本契約の履行にあたって自動車を利用し、又は利用させる場合は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成 12 年東京都条例第 215 号）の規定に基づき、次の事項を遵守すること。

(1) ディーゼル車規制に適合する自動車であること。

(2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総の自動車であること。

なお、適合確認のために、当該自動車の自動車検査証（車検証）、粒子状物質減少装置証明書等の提示又は写しの提出を求められた場合には、速やかに提示又は提出すること。

8. 東京都グリーン購入推進方針

別紙「東京都グリーン購入推進方針」の定めるとおりとする。

9. 支払方法

納品完了後に提出される納品書に基づき完了検査を行い、合格と認定した後、適法な支払請求を受理した日から 30 日以内に支払うものとする。

10. 暴力団排除に関する条項は、別紙に定めるとおりとする。

11. 本仕様書の解釈について疑義が生じた場合は、財団と協議して決定する。

連絡先

〒190-0013

東京都立川市富士見町三丁目 8 番 1 号

(公財)東京都農林水産振興財団

東京都農林総合研究センター

研究企画室

Tel 042-528-5216

東京都グリーン購入推進方針

物品等の調達に当たっては、その必要性をよく考えた上で、価格・機能・品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択して購入することとする。

その際、可能な限り、原材料の採取から製品やサービスの生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおいて環境への負荷が少ないものを選択することが必要である。

特に、省エネルギーの徹底や再生可能エネルギーの利用等による脱炭素化の推進、サーキュラーエコノミーの推進に寄与する製品やサービスを積極的に選択することで、物品等の調達を通じ、全庁をあげて環境課題に対応していくことが重要である。

そこで、調達する各製品やサービスごとに、適正な価格・機能・品質を確保しつつ、以下の観点で他の製品等と比較して、相対的に環境負荷の少ないものを選択することとする。

<原材料の採取段階での環境配慮>

- ① 原材料の採取において資源の持続可能な利用に配慮されているもの
- ② 原材料が違法に採取されたものではないもの
- ③ 原材料の採取が保護価値の高い生態系に影響を与えていないなど、生物多様性の損失を引き起こしていないもの
- ④ 原材料の採取において環境汚染及び多量の温室効果ガスの排出を伴わないもの

<製造段階での環境配慮>

- ⑤ 再生材料（再生紙、再生樹脂等）を使用したもの
- ⑥ 余材、廃材（間伐材、小径材等）を使用したもの
- ⑦ 再生しやすい材料を使用したもの

<使用段階での環境配慮>

- ⑧ 使用時の資源やエネルギーの消費が少ないもの
- ⑨ 修繕や部品の交換・詰め替えが可能なもの
- ⑩ 梱包・包装が簡易なもの、又は梱包・包装材に環境に配慮した材料を使用したもの

<廃棄・リサイクル段階での環境配慮>

- ⑪ 分別廃棄やリサイクルがしやすい（単一素材、分離可能等）もの
- ⑫ 回収・リサイクルシステムが確立しているもの
- ⑬ 耐久性が高く、長期使用が可能なもの

<サービス提供時の環境配慮>

- ⑭ 省エネルギーの取組を徹底したもの
- ⑮ サービス提供時に必要な電力に再生可能エネルギーを利用するなど温室効果ガスの排出が少ないもの

<その他の環境配慮>

- ⑯ 製造・使用・廃棄等の各段階で、有害物質を使用又は排出しないもの
- ⑰ 製造・使用・廃棄等の各段階で、環境への負荷が大きい物質（温室効果ガス等）の使用、排出が少ないもの
- ⑱ 製造・使用・廃棄等の各段階で、生物多様性の損失を引き起こさないもの